

# 中宮中だより

No. 10

平成28年(2016年)10月25日

枚方市立中宮中学校

校長 鶴島 茂樹

## 生徒会発足

### <結果に関わらず、すべての立候補者に拍手!!>

学校全体のために自分の出来ることをしようと、立候補してくれた諸君。その勇気と意気込みに拍手を送りたいと思います。そして、結果に関係なく、立候補したことに誇りと自信をもってください。この経験は、今後の皆さんの大きな財産となることでしょう。

さて、会長さんはじめ新役員の皆さん。当選おめでとうございます。新役員さんたちについては、任期の始まる11月に次号で書かせてもらいます。

#### <旧役員の皆さんへ>

旧役員の皆さん、お疲れ様でした。私は、この4月からしか知りませんが、中宮中学校に来て数日間で、この学校は先生方と生徒会が協力して創ってきたんだなと感じました。例えば、生徒集会の集合・聴く態度の素晴らしさ等、きっと、昨年度から様々な取り組みや苦労があったこそ、ここまできたんだなと思いました。

特に、4月のあの熊本大地震の際、「校長先生、募金活動をしたいのですが」と自分で考えて相談してくれた生徒会長、気持ちよく協力してくれた皆さん。また、最近では、ケータイ・スマホの使用時間と「学力」の相関関係について自主的に調べ、「学力向上」と銘打った生徒会新聞が発行されました。

もちろん、体育祭・文化祭・生徒総会・朝の挨拶運動・チャイム席の取り組み等々、すべて生徒会を中心とした生徒みんなの力によるものです。これらの取り組みはきっと新役員が引き継ぎさらに発展させてくれるに違いありません。

クラス、学年、学校を創り上げる主人公は生徒会を中心としたみんなです。そういった「自治の力」が育ちつつあることを実感させてくれた生徒会役員の皆さん、10月31日で任期は終わりますが、これまでの経験を生かして、1、2年生にその背中を見て成長してもらえよう。最高の3年学年を、クラスや学年の仲間と協力して創り上げていきましょう！

○先日、大々的に報道されたので知っている人も多いと思いますが、沖縄で、「不適切な発言」がありました。米軍のヘリパッド移設工事の現場付近で、反対する住民に対して、一部の機動隊員の口から「ぼけ、土人が」「黙れシナ人」というような言葉があびせられたというものでした。

シナ=支那は、かつての中国で一時期、自国を指す言葉として使われていましたが、それ以降使用されず、戦時下の日本では中国の人に対する侮辱的な言い方として使用されることが多かったそうです。

なぜ沖縄の人に対してこの言葉が使われたのかは不明ですが、相手を傷つけ侮辱する言葉として発したことはまちがいないでしょう。またそれをこの報道を通して知った中国の人をも傷つけたことになるのです。「土人」に至っては解説の必要もないと思います。

このことをここで取り上げたのは、別にこの事件についてどうのこうのというのではないのです。言いたいのは、私たちの身の回り、学校でのみんなの日常の中で、相手を傷つけたり誰かを差別したりするような言動がないだろうかということなのです。

「冗談のつもりで」「ついカッとなって」「言葉の意味を知らなかった」などの言い訳で済まないこともたくさんあります。もしもそんな失敗をしてしまったとしたら、しっかりと反省して、次に生かすことです。

いつも言うように、大切なのは想像力です。相手がどう受け止めるか、まわりの人がどう感じるのか、自分にとってどうなのかを想像できるようになってください。

そして、もしも自分のまわりでそういった差別的な言動や相手の気持ちを考えない発言があったなら、見逃さないでください。知らぬふりをしないで断固注意して止めてください。差別やいじめをなくす原動力は、そういったクラスや学年のみんなの正しい意志と勇気なのです。

\*インターネット上でのトラブルも同じことです。まして、ネット上では顔も見えず短い言葉だけが独り歩きます。よりいっそう、相手の気持ちを想像する力が重要となってきます。

お互いに相手の気持ちを想像し尊重しあう・・・そんな豊かな感性にあふれた学校や社会であってほしいと思います。